

2006年度

Block 4 テュートリアル課題

課題番号 8

動くことも話すこともできない……………



脳神経外科 糟谷 英俊

※断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください

動くことも話すこともできない……

シート1

鈴木二郎(58歳)は私の父です。会社で突然倒れ、救急車で病院へ運ばれたので、すぐ病院へ行って欲しいという連絡が家にありました。急いで母と病院へ向かいました。「意識がない」とのことです。

<抽出を期待する事項>

突発発症の意識障害

意識についての生理学

動くことも話すこともできない・・・

シート2

病院では、父は口に管が入り、人工呼吸器につながっていました。手足はまったく動かさず、目も開けません。「おとうさん」と大声で叫んで体をゆすっても反応がありません。

(資料1)神経学的所見

<抽出を期待する事項>

意識障害

意識についての生理学

意識障害の病態生理学

意識障害の分類、評価法

意識障害をきたす疾患の鑑別診断

意識障害患者における神経学的所見のとり方

動くことも話すこともできない……

シート3

私たちは CT(資料2)をもとに病状の説明を受けました。1ヵ月後、父は気管切開部から呼吸し、ものが食べられず、胃に直接管が入ってそこから栄養剤をいれてもらっています。手足はほとんど動きません。目は開けられます。呼んでも反応はありません。医師から「植物状態」だといわれました。

<抽出を期待する事項>

意識障害の見方、分類

脳の構造と機能

CTによる脳出血診断

脳出血の病態、治療

植物状態

動くことも話すこともできない・・・

シート4

3ヶ月たちました。毎日病院へ行っている母は、父は母のことが分かっているといいます。父は、声は聞こえていないようですが、私の顔もはっきり分かり、すべてが分かっている気がします。「父は植物状態ではなく、意識があると思います。」と医師に尋ねてみました。「可能性はあります。よく診察してみましょう。」と言われました。その後検査結果(資料3)と病状の説明を受けました。少し期待が持てます。

<抽出を期待する事項>

意識障害の見方、分類

植物状態

locked-in 症候群

動くことも話すこともできない・・・

(資料1)

入院時 神経学的所見

どのような刺激でも開眼なく、四肢はどのような刺激でも動かさない。腕を持ち上げて落とすと(arm dropping)左右差ない。瞳孔は両側とも1mmで正円、眼球は正中位で左右には動かない(人形の目現象:なし)。自発呼吸ない。膝反射は両側とも低下し、Babinski 反射は両側陽性。